

# 「立川市中学生平和学習派遣事業」において各校の代表の中学生が広島市を訪問しました。

平成30年度から「立川市中学生平和学習派遣事業」として各中学校の代表生徒9人を広島市へ派遣しています。参加した中学生は被爆地である広島市を訪問し、被爆した施設の見学や被爆された方などから当時の貴重なお話を伺いました。



原爆ドームを背に記念撮影

この事業は、中学生自らが平和についてより深く考え感じるとともに、在籍校の生徒や市民の方に広く発信することにより、市として平和の取組の充実を図ることを目的としています。

昨年までは1泊2日で行っていましたが、今年度は8月20日(日)から22日(火)までの2泊3日で行い、平和関連各施設を見学したり、多くの関係者の方から話を聴くなどして事業の充実を図りました。



原爆死没者慰霊碑



原爆の子の像



本川小学校平和資料館での見学の様子

1日目は、ガイドの方のご案内のもと原爆ドームや平和記念公園内の各施設を見学した後、被爆者の遺品や被爆の惨状を示す写真や資料を展示している平和記念資料館を見学しました。

2日目は、午前中に世界遺産である宮島の厳島神社を訪れ、日本の歴史と文化に触れた後、爆心地にもっとも近い小学校として多くの犠牲者を出した本川小学校の平和資料館と、同じく爆心地に近く被爆時の校舎の一部が保存されて

いる袋町小学校の平和資料館を見学しました。

3日目には、当時15歳で被爆された方から被爆時やその前後の広島市の様子など貴重なお話を伺いました。

参加した中学生からは「原爆ドームを見て平和に対する思いが強くなった」、「実際に目で見て、話を聞いて、平和の大切さや戦争の恐ろしさを知った」、「被爆体験の話聞き、資料を見るより、具体的に悲惨な話を聞いて強く伝わってきた」などの感想が寄せられました。

\* \* \*

今回の平和学習派遣事業については、生徒の在籍校において発表を行うとともに、令和6年1月27日(土)に開催する立川教育フォーラムで、参加した中学生が発表します。

☎高松学習館 ☎(527)0014



被爆体験者の話を伺っている様子

幸学習館

12月16日(土)

かわせみカフェ

午前10時～午後3時

東京芸芸大学の学生が企画し、幸学習館運営協議会が運営する「かわせみカフェ」を、「世代間交流」を目的に開催します。「食」をテーマにお手玉遊びや昔遊び、クイズやゲームを行います。お気軽にお立ち寄りください。直接会場へ。



昨年度の「かわせみカフェ」の様子

☎幸学習館 ☎(534)3076

## アール・ブリュット立川2023

～高松からの風～

アール・ブリュット立川実行委員会との共催で、「アール・ブリュット立川2023～高松からの風～」を9月6日(木)から9月19日(火)まで(9月11日(日)は休館日)開催しました。

アール・ブリュットとは正規の美術教育を受けていない人々が、伝統や社会の潮流に流されることなく独自の方法により制作した作品を指します。

アール・ブリュット作家だけでなく、地域の福祉作業所の方々の作品やこれまでに作成したポスターなどを、高松学習館のロビーや廊下階段などのスペースを使い多数展示し、多くの方に鑑賞いただきました。

併設の高松図書館では、期間中にアール・ブリュット関連本のミニ展示コーナーを設置するとともに、リサイクル本を配布しました。

また、9月8日(金)には障がいのある人もない人も暮らしやすい立川を考える会制作(立川市委託事業)の映画「バリアフルライフ」を上映したほか、9月10日(日)にワークショップ「オリジナルクリアファイルを作ろう」を実施しました。



恐竜の立体作品も登場



上手にできました

☎高松学習館 ☎(527)0014

